

★森のおはなし探検隊★

4月のテーマは「春を探そう！」

開催日時：4月15日(日) 13:00～14:00

開催場所：子どもホール2階 テレビモニター前

参加費：無料(別途要入園料)・事前申込不要

子どもから大人まで楽しめるプログラムを
月替わりで用意しています。

4月は、春をテーマにした絵本の読み聞かせと、
外に出て、春を感じるいろいろなものを見つけます。



★ボランティアによるガイドツアー★

開催日時：4月8日(日)・22日(日) 10:30～ 1時間程度

集合場所：サル山前(ニホンザル展示場)

参加費：無料(別途要入園料)・事前申込不要

ボランティアのガイドによる話を聞きながら、
動物たちを見て回りませんか？
動物には、それぞれ個性が有り、
受け継いできた命の営みを感じましょう！
動物の生態や楽しい話をしながら回るツアーです！



天候などの都合により変更・中止することがあります。どうぞご了承ください
詳しくは、HP もしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問合わせ下さい。

到津の森公園の開園に合わせて設立された
「市民ボランティア森の仲間たち」も10周年を迎えました。
これからも来園者に楽しんでもらえるイベントを
企画・開催しますので、みなさんの参加をお待ちしています！

いとづ 到津の森公園

森の仲間たち

「到津の森公園」公園事務所
小倉北区上到津4-1-8
Tel 093-651-1895 〒803-0845
<http://www.kpfmmf.jp/zoo/>

森のお便り 4月号 2012年

発行・編集「到津の森公園」「森の仲間たち」12年4月1日発行 通巻110号

森の仲間たち・活動開始 祝10周年

到津の森公園・開園

10周年記念プロジェクト

「いとづのもりがたり」展覧会

4月15日(日)～8月31日(金)

この春開園10周年を迎えるのを記念して、来園者の皆さん
や各方面で活躍するアーティストたちと作り上げる展覧会を開
催します。皆さんが綴った当園の思い出の文章に、気鋭の写真
家が撮影した写真を添えて、園内各所に展示しています。
園内を巡りながら、数々の作品をどうぞご覧ください。

★プロジェクトメンバー★

黒田征太郎(くろだ せいたろう) / イラストレーター

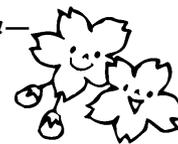
梅 佳代(うめ かよ) / 写真家

浅田政志(あさだ まさし) / 写真家

森本千絵(もりもと ちえ) / アートディレクター、
コミュニケーションデザイナー

新井敏記(あらい としのり) / 編集者、ノンフィクションライター

内田真由美(うちだ まゆみ) / アート・コーディネーター



何と例年より 20 日遅れでミモザが満開となりました。春の光を集めて輝く黄色の花は、私達の心を明るくしてくれます。

オーストラリアからやって来たミモザ(ギンヨウアカシア)たちには長い冬だったでしょうね。桜のつぼみもやっと膨らみ始めています。

ところで今年は「到津遊園」が「到津の森公園」として再オープンして 10 年になります。約 2 年市民ボランティアとしての研修を受け、新たに園に出向いた 2002.4.13、私が見たものは、大洪水の河の流れのような来園者の方々の群れでした。南ゲートからデッキに続く階段は人々に埋め尽され、デビューしたばかりの小泉孝太郎さんもみえましたが、人の河の流れが見えただけで、何にも分からずじまい。何事もなく終えてよかったと思う再オープンでした。

いくらか落ち着きはじめた園内、花壇のルピナスが見事に花の穂をつけ、その見事さに目を奪われました。

昔の入学式の頃は桜とのぼり藤(キバナルピナス)がお祝いの気分を盛り上げてくれていたものですが、紅・ピンク・白等、とりどりのラッセルルピナスの上品な美しさ。白をわずかに含む日本画のような葉も清々しく一目でとりこになってしまいました。最近では園芸店でもよく見かけるようになりました。北海道では野性化していると聞き、いつかは自然に群れ咲くルピナスの野原に行ってみたみたいです。

さて再オープン 10 周年と共に市民ボランティアも 10 周年を迎えることになりました。

来園された折には、緑のベストのボランティアに話しかけて下さいね。私達にも挨拶の声を掛けさせて下さい。

7 月には記念の行事も予定しています。お楽しみに！！

文：花咲くおばさん

花 暦 卯 月

森のなかま・岩野園長

ほんとに月日の経つのは早いもので、到津の森公園は 10 歳になってしまいました。

もっとも到津の森公園は何百年も続いてもらわなくてはなりませんから、ほんの数歩を歩んだばかりかもしれません。

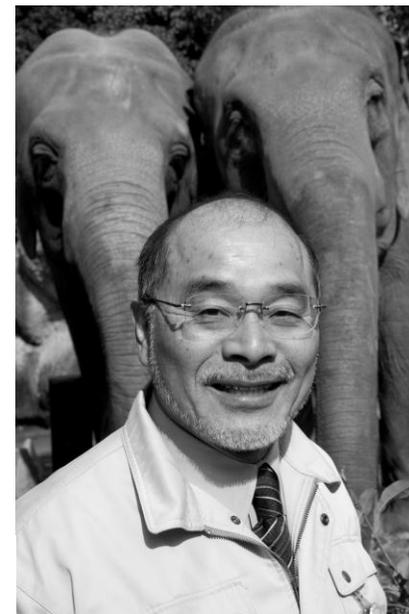
思えば高い思想を掲げてここまで来たような気がします。日本一になりたい。入園者数でもなく、面積や動物数などの規模でもなく。では何が一番到津の森公園にふさわしいのでしょうか。それは地域の人々に愛されるということ。人々の心の支えになれること。

何があれば愛されるようになるのでしょうか。また心の支えになれるのでしょうか。

私は思います。背伸びをすることなく、私たちにできる精一杯のおもてなしをする。簡単そうですが続けるというとは意外に難しい。それは私たちの力以上のものを見せようとするからではないでしょうか。

開園以来たくさんのお木々を植えました。草花も植えました。やがてそれが実を結ぶことでしょう。私たちができないことであれば、園内にある樹木や動物たちの力も借りて。

やがてどこにもない到津の森公園ができあがるはずです。



到津の森公園 園長 岩野 俊郎